

わかたけ

発行所
豊田工科高等学校
第147号
2025. 10. 1

「勝利の女神は 細部に宿る」

校長 魚谷 和広

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育に深い御理解と多大なる御協力、そして温かい御支援をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。今回のわかたけでは『勝利の女神は細部に宿る』について考え、生徒のみなさんのさらなる成長を期待したいと思います。

この言葉は、元サッカー日本代表監督の岡田武史さんがよく言っていた言葉であり、私も大切にしている言葉です。成功や勝利というのは、努力の量だけではなく、どれだけ細部にこだわり、その細部に目を向けて準備をしてきたかによって決まるという意味が込められています。サッカーに興味がある人なら、前回大会のカタールW杯での「三笥の1ミリ」という言葉を覚えている人も多いでしょう。日本代表がスペイン代表と戦った試合で、三笥薫選手がゴールラインを割りかけたボールをラインギリギリで中にアシストし、それが決勝点となるゴールに結びついたというものです。もし、ボールが1ミリでも外に出ていたら、あのゴールはなかったし、日本がグループ首位で決勝トーナメントに進むこともなかったという試合です。あれを見て、「森保監督は運がいい」と言う人もいます。しかし、岡田武

史さんはそれに対して、「森保は運がいいのではない。森保はいつもどんなことも細部まで丁寧に行ってきたから、神様がご褒美をくれたんだ。」と語っています。さらに、岡田さんはこのようにも言っています。

- ・日々、お世話になってる人に感謝を伝える
 - ・靴が乱れていたら靴を揃える
 - ・挨拶をする、時間を守る
 - ・ゴミが落ちていたら拾う
 - ・周囲への気配りを欠かさない、など。
- 地味で、誰も見ていないようなことまで、丁寧に、誠実にやり続けていたのが森保監督です。だから、あの「1ミリ」は偶然の産物ではなく、積み重ねてきた生き方が引き寄せた必然の「運」なのです。では、これをみなさんの学校生活にも置きかえて考えてみましょう。
- ・提出物を早めに丁寧にやり抜いていますか？
 - ・身の回りの整理整頓をしていますか？
 - ・普段のあいさつを大事にしていますか？
 - ・そういった日々の「当たり前」を雑にしてしまうと、大事なところで詰め甘さが出てしまい、全てが台無しになってしまうことにつながります。
 - 逆に、日頃から丁寧にやってきた人には、神様がそっと背中を押してくれることがあります。それが「運」というものの正体なのだと私は思います。

『勝利の女神は細部に宿る』

この言葉は、技術や学力だけでなく、「人としてのあり方」にも通じるものと私は捉えています。みなさん、日々の生活の中で「1ミリ」の積み重ねを大切にしてください。勝利の女神は、あなたのすぐそばにいます。しかし、ただなんとなく過ごしているだけでは、振り向いてくれません。細部にこだわ



り、丁寧に生きている人のところにこそ、静かに微笑みかけてくれるのです。今日という一日を「1ミリ」を大切にする日にしましょう。

みなさんのさらなる成長に期待！

『共に歩み、共に進む』

PTA会長
安藤三知代

いつもPTA活動に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年度も子どもたちは、それぞれの夢や目標に向かって、豊田工科高等学校での毎日を一步一步着実に歩んでいます。教室での学び、実習での経験、部活動や学校行事、そして仲間との関わりの中で、多くのことを吸収しながら成長していく姿は、本当に頼もしく、私たち保護者にとっても大きな励みとなっています。

この学校では、専門的な知識や技術といった「目に見える力」だけでなく、人としての在り方や姿勢、心構えといった「人間力」も大切に育てていただいています。毎朝の先生方との元氣な挨拶や、場面に応じた礼儀正しい振る舞いには、社会に出た後も信頼される人物へと育っていく確かな歩みを感じます。

子どもたちにとっては、思うようにいかない日や失敗を経験することもあるかもしれませんが、それもまた大切な学びです。地道に積み重ねた努力は、やがて大きな自信と力となり、それぞれの未来を力強く支えてくれることでしょう。

私たち大人にできることは、そうした子どもたちの歩みを信じ、見守り、ときには励まし、ときにはそっと背中を押してあげることだと思います。

また、子どもたちが心身ともに健やかに過ごしてくれることは、私たちにとって何よりの願いです。

これからもPTAは、学校と家庭をつなぐ大切な存在として、学校行事などへの協力をはじめ、さまざまな活動に積極的に取り組んでまいります。

豊田工科高等学校が、今後も地域の皆さまに愛される学校であり続けられるよう、私たちPTA役員・委員も先生方と力を合わせて努めてまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度 職員異動



◇転出者

山口 健 (自動車)	小牧工科高校 校長
市原 康広 (自動車)	瀬戸工科高校 教頭
船本 章人 (保健体育)	碧南工科高校 教頭
寺原美代子 (家庭)	岩津高校
丹下 寛人 (機械)	名古屋工科高校 (定時制)
柴口 英哉 (電子工学)	刈谷工科高校
赤塚 亮介 (国語)	岡崎北高校
中野 康子 (養護教諭)	岡崎工科高校 (定時制)
水野 泰三 (自動車)	退職
森 忠 (機械)	刈谷工科高校
岩月 仲寿 (自動車)	退職
長田健太郎 (理科)	新規採用 蒲郡東高校
坂野香代子 (理科)	退職
正田 千晴 (事務)	松平高校 事務長
杉浦 春子 (事務)	防災安全局県民安全課

◆転入者

山内 啓 (教頭 数学)	刈谷北高校
加藤 勝史 (自動車)	刈谷工科高校
加藤 友嗣 (保健体育)	安城高校
長谷川智子 (家庭)	岩津高校
村石 奏音 (国語)	安城高校
岩間 真 (電子工学)	愛産大三河高校 (新規採用)
福田 大起 (理科)	新規採用
仲村 梨恵 (英語)	新規採用
山田 啓介 (機械)	新規採用
神谷 冴子 (養護教諭)	西尾高校
柴田 和直 (電子工学)	岡崎工科高校
佐々木晴文 (保健体育)	豊野高校
山本 公浩 (機械)	岡崎工科高校
畑 久夫 (自動車)	刈谷工科高校
橋本 佑大 (保健体育)	新規採用
西田裕一郎 (理科)	新規採用
池田 晃基 (事務)	豊田加茂建設事務所足助支所
西岡 洋輝 (事務)	新規採用

IT工学科ニュース

IT工学科主任 水野 昭広

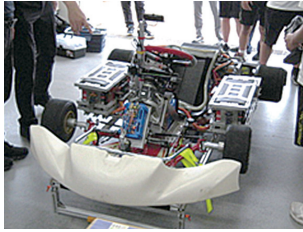
ソサエティ50が提唱されて9年が経ちます。生活、仕事など皆さんの周りではどのような変化があるのでしょうか。教育の現場においてもIoTやAIを使い、産業界で活躍する人材育成が期待されています。

IT工学科では、マイコンを使った制御実習やセニアカー、タートルボットを使った自動運転の実習に力を入れています。今年度は、カップ麺タイマーの製作実習を立ち上げました。この実習では、基板設計からマイコンによるLED制御やメロディを奏でる音の制御まで、幅広い技術の習得を目標としています。

また、7月には株式会社モビテック様よりレーシングカートの寄贈がありました。このカートはエンジンではなく、モーターで駆動するカートであり、アクセル、ブレーキ、ハンドルのマイコン制御でき、自動運転の教材として利用してほしいとのことでした。

さらなる発展を

IT工学科に、乞うご期待ください。



レーシングカート

カップ麺タイマー

機械科「自己満足の大切さ」

機械科主任 前野 将之

8月17日(日) ポリテクセンター三重にて高校生ものづくりコンテスト東海大会 機械系溶接競技部門が開催され、機械科3年の山本来希君が出場しました。県大会では200点満点中199点という驚異的な点数で優勝したのですが、その結果に満足することなく、取り損ねた1点にこだわり毎日練習を重ねてきました。競技後、並べられたすべての作品を見渡すと、愛知総合工科の選手と山本君の2作品の完成度が非常に高く、東海地区の中でも愛知県のレベルの高さが際立っていました。競技の結果は山本君が見事に優勝を果たし、11月に徳島県で行われる全国大会に進むことになりました。とはいえ、自分に厳しい山本君自身が「実力を出し切れた」といえるほどの手ごたえを感じられた事に、順位以上の価値があると思います。

山本君がどんな方法で溶接技術を上達させたのかといえ、前述のとおり毎日の地道な練習です。彼は基本的に日曜日以外は練習していますが、レポートやその他の宿題があれば毎日でも練習するでしょう。すなわち溶接が好きという気持ちと時間の使い方ではないかと思えます。彼が溶接作業に取り組み姿勢を見ていると、いつも感心すると同時に、自分はどうだろうと思ってしまう。最近筋トレやつてないなあとか「読みかけの本たまたまきたなあ」とか、好きや興味で始めたことがいつの間にかおざなりになっていることがいくつも思い浮かびます。別に誰も彼も山本君のように一つの物事に打ち込まなければならぬとか、そうあるべきだとは思いません。むしろほどこでどこで切り上げてご飯の用意や洗濯などをするから日々の生活が回っているのです。でもそのうえで、一日5分でも筋トレを続けていたら、1ページでも2ページでも本を読み進めていたら、その自分は今の自分よりちょっとだけステキなのかもしれません。自己満足で良いのです。派手な活躍や大きな成果を目的にすることも、自分の好きな事をちよつとずつでも続けることが、自分のできることや選択の幅を増やし、人生を豊かにしてくれるのだと思います。

自動車科「プロジェクトA」

自動車科主任 山邊 智志

今年度、自動車科では大きなプロジェクトに取り組んでいます。

愛知工科大学様より、実習車としてトヨタ・カローラ8台をご寄贈いただきました。この車からエンジンを降ろして、分解・組立実習を行うための「エンジン実習装置」の製作を進めています。

現在使用している装置は、四十年以上前のトヨタ3A-U型エンジンで、現代の車両技術とは大きく異なります。今回のプロジェクトは、こうした旧型装置を更新し、より実践的な教材へと進化させることを目的としています。

製作は、自動車科3年生の課題研究授業として行われ、生徒たちは実際の車両からエンジンを降ろし、マウントの設計・製作までを自らの手で行います。教科書だけでは学べない整備技術や作業工程を体験することで、実践力を高めています。

令和9年からは、自動車整備士資格制度の改正が予定されています。これまで「三級ガソリン」「三級シャシ」などに分かれていた資格区分は、「三級自動車整備士【総合】」として統一され、より幅広い整備技術に対応できる内容へと変わります。本校でも制度変更に合わせて授業・実習内容の見直しを進めており、みなさんが安心して整備士資格取得に臨めるよう、教員一同全力でサポートしています。

自動車科での学びは技術だけでなく、ものづくりの楽しさや協力する力も育みます。このプロジェクトを通して、みなさんの成長と挑戦を応援していきます！



電子工学科ニュース

電子工学科主任 落合 貴明

令和7年度が始まり、半年近く経ちました。ご転入された先生もいて、雰囲気は少しばかり変わったかなと感じています。新たな2名の先生を迎え、電子工学科は新たに「挑戦」していきたいと考えています。さて、ここからは電子工学科ニュースをお届けします。

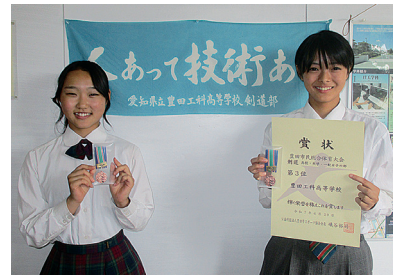
5月に「高校生ものづくりコンテスト電気工事の部」が開催されました。本科から、3年生の鈴木佳蓮さん・小久江あさひさんが出場しました。両選手とも毎日夜遅くまで練習し、大会当日も素晴らしい作品を制作してくれました。しかし、残念ながら入賞することはできませんでした。両選手には、心からお疲れ様の声掛けと拍手を送りたいと思います。

7月には2年生を対象とした「スキルアップ講座」を実施しました。今年度は「LaQを用いたものづくり体験」「電気のおもしろ実験」「シューティングゲームを作る」「自動車エンジンニアリングの体験」「ダイバーシティ講座」の5つの講座を実施しました。企業・専門学校講師の方を招いて、普段の授業では学ぶことができない、見ることでできない体験をさせていただきました。少しでも君たちの心に残ってくれていれば嬉しく思います。

最後に、皆さんにこれから取り組んでもらいたいことを書きます。それは「挑戦」です。どんな些細な事でもいいので「挑戦」してもらいたいのです。資格試験に挑戦するのもよし、部活動で本気で取り組む挑戦もよし、何か新しいことを始め挑戦するのもよし。失敗を恐れず、飛び込んでみてください。ボーっと人生過ごさないでください。今しかできない、今だからできることに挑戦してください。電子工学科の皆さんの活躍を心より楽しみにしています。

活躍する豊工生

豊田市民総合体育大会 剣道
高校・大学・一般女子の部



第3位 ㊦36組 松本 爽良
㊦36組 鶴田 歌凜

第79回愛知県高等学校総合体育大会
柔道競技 西三河支部予選会



第2位 代表
35組 高山 雅楽

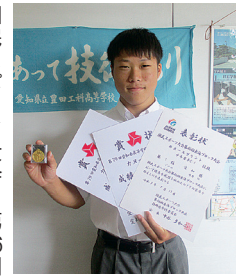
同 優秀選手賞 35組 高山 雅楽

第79回愛知県高等学校総合体育大会
ラグビー競技 三河支部予選会



準優勝 代表
32組 梅村 天星

第79回愛知県高等学校総合体育大会
カヌー競技 500m男子C-1
優勝 26組 水野 駆



第3位 代表
26組 水野 駆

同 男子団体

第31回愛知県高等学校工業教育研究会
総合競技大会 溶接競技の部



優勝 ㊦32組 山本来惟希
奨励賞 ㊦22組 稲垣 奏空

同 旋盤作業競技の部



佳作
22組 西尾 清

第79回愛知県高等学校総合体育大会
バレーボール競技 西三河支部予選会
第3位 代表 33組 伊東 類



準優勝 代表 ㊦33組 伊東 類
㊦35組 青木 蒼空

豊田市民総合体育大会
バレーボール競技 高校の部

令和6年度後期技能検定
機械検査作業 3級合格者 7名



代表
32組 石川 勇太

3級技能検定 シーケンス制御
(シーケンス制御作業) 合格者5名



代表
35組 廣瀬 惺士

3級技能検定 電子機器組立て
(電子機器組立て作業) 合格者5名



代表
36組 森本 悠太

第92回計算技術検定試験
2級合格者20名



2級合格代表
31組 森脇 翼

同 3級合格者213名



3級合格代表
12組 佃 萌衣

第74回情報技術検定試験
2級合格者44名 3級合格者8名



代表
26組 川瀬 一熙

令和7年度愛知県高等学校
西三河学年別陸上競技大会
1年生男子砲丸投(5・000kg)



第4位
15組 宮本 颯大

同 2年生男子やり投(800g)



第6位
22組 佐藤 暖真

令和7年度全三河高等学校ソフトテ
ニス大会 西三河予選会
第8位 山崎・熱海・内藤・滝谷・
澤田・島本・鈴木・飯盛



代表
26組 山崎 鉄平

